

Contents

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1 シエナ大学と学術交流協定締結 | 5 保健医療学部登院式 |
| 2 センチュリー 21・ジャパンと包括協定締結 | 6 明海大学・朝日大学合同研修会を開催 |
| 3 北方民族大学(中国)の学長らが浦安キャンパスを訪問 | 7 関東地区教育懇談会 |
| 4 森一将准教授 3年連続受賞 | 8 明海スポーツ |

シエナ大学(イタリア)と学術交流協定締結

5月28日、姉妹校である朝日大学とともに、シエナ大学(イタリア)と新たな学術交流協定を締結した。締結式は浦安キャンパスで行われ、本学および朝日大学の宮田淳理事長、本学の中島裕学長、朝日大学の太友克之学長、シエナ大学のRoberto Di Pietra総長が参加し、協定書への署名、交換を行った。

本学とシエナ大学は、2008年に国際的視野を持つ歯科医師の育成を目的として学術交流協定を締結し、これまでに26人の学生が相互交流を行うなど、長年にわたり緊密な協力関係を築いてきた。今回の新たな協定締結により、これまでの信頼関係を基

盤に、学術交流の更なる活性化と学生および教職員の交流機会の拡充、ならびに交換留学プログラムの充実をめざす。

また、翌29日に2025年大阪・関西万博イタリアパビリオンでは、「The Italian Higher Education System at EXPO 2025 Osaka 1st Italian and Japanese Rector's Forum」が開催され、同フォーラム内で行われた学術交流協定締結セレモニーに中島学長が出席。イタリアと日本の高等教育機関間で新たに締結された8件の学術交流協定のうちのひとつとして、本学とシエナ大学との協定が紹介された。

本学では、今後もより一層の国際交流を推進し、教育・研究の質の向上に努めるとともに、世界で活躍できる人材の育成に注力していく。



左から中島学長、宮田理事長、Roberto Di Pietra総長、太友学長



学術交流協定セレモニーに出席する中島学長(右から5番目)
写真引用元: General Commissioner's Office of Italy for Expo 2025 Osaka

次代の不動産業界を担う人材育成へ センチュリー21・ジャパンと産学連携協定を締結

産学連携活動に関する協定締結 明海大学 × 株式会社センチュリー21・ジャ



明海大学 中島裕学長(左)、株式会社センチュリー 21・ジャパン 園田陽一代表取締役社長※(右)

6月10日、本学と株式会社センチュリー21・ジャパンは「産学連携活動に関する協定」を締結した。この協定は、学術と実業の両面から次代の不動産業界を支える人材を育成し、社会的ニーズに応える不動産業界の発展に貢献することを目的としている。

日本で唯一の不動産学部を有する本学では、自治体や民間企業との連携による社会実践教育に力を入れており、学生の主体性や課題解決能力を育む取り組みを展開している。今回の協定も、そうした教育理念に基づく連携の一環である。

今後は、株式会社センチュリー21・ジャパンの加盟店におけるインターンシップの実施や、同社からの不動産実務教育の機会提供など、様々な共同活動が予定されている。また、加盟企業の人材採用施策に関連する学生向け意識調査の実施や、教育カリキュラムと連動した実体験学修の支援など、具体的な連携も進めていく。

本協定を通じて、学生が現場の視点を身につけ、より深く不動産業界への理解を深める機会の拡充が期待され、産学が協力して社会と教育をつなぐモデルケースとして、今後の展開に注目していただきたい。今後も産学連携を通じ、社会に求められる実践力のある人材を育成していく。

【連携協力事項】

- (1) 株式会社センチュリー21・ジャパンが運営する不動産フランチャイズシステムへの加盟企業の人材採用施策に関連して、明海大学学生に対する意識調査又は加盟店が行うインターンシップへの学生派遣等の支援を行う。
 - (2) 明海大学教育カリキュラムに関連して、加盟店における実体験学修等、学生への不動産実務教育の機会提供等の支援を行う。
 - (3) その他、相互に合意した事項
- ※6月25日付で園田陽一代表取締役社長は退任。高坂勇介氏が就任。

トゥルク大学(フィンランド)の学生と教員が坂戸キャンパスを訪問

5月23日、交換研修プログラム(※)の一環として協定校であるトゥルク大学(フィンランド)から学生2人と教員2人が坂戸キャンパス(歯学部)を訪問した。一行は初めに本学の国際交流の取り組みや研究活動に関する講義を受講。国際的な歯学教育への理解を深める機会となった。その後、付属病院の見学では、最新の医療設備や診療現場の様子に強い関心を寄せる姿が見られた。

続いて開催された講演会では、トゥルク大学の学生と教員からそれぞれ発表が行われた。学生は自己紹介をした後、学校生活について話し、参加者は熱心に耳を傾けていた。昼食時には歓

迎ランチパーティーが催され、双方の学生と教職員が積極的に言葉を交わしながら交流を深め、和やかな雰囲気に包まれた。

今回の訪問は、学術的・文化的な相互理解を深める有意義な機会となった。本学では、国際的な歯科医師育成を目的とした交換研修プログラムを実施している。

(※) 交換研修プログラム：本

学歯学部は国際的な歯科医師を育成することを目的に、費用全額大学負担の海外研修制度を設けるとともに、海外の各国姉妹校から交換研修生の受け入れも行っている。



付属病院を見学するトゥルク大学の学生・教員ら

北方民族大学(中国)の学長らが浦安キャンパスを訪問

5月21日、北方民族大学(中国)の学長をはじめとする訪日団(千葉県日中友好協会招聘)が、浦安キャンパスを訪問した。今回の訪問では、本学中国語学科との学术交流を目的とした交流会が同時通訳演習室にて行われ、双方の理解を深める貴重な機会となった。

交流会には本学中国語学科の教員が出席し、北方民族大学の教員と活発な意見交換や情報共有を実施。冒頭では、本学の内苑孝美副学長、北方民族大学の李俊傑学長が、それぞれ歓迎と感謝の言葉を述べ、相互の関係がより深まることへの期待感が示された。会の進行においては、本学中国語学科の神崎龍志教授、北方民族大学の花児教授

が通訳を担当。円滑なコミュニケーションを支え、両大学の教員間での交流を活発なものとした。

また、交流会には中国語学科の学生17人が見学のため同席。実際の通訳の現場や、国際的な学术交流の空気に触れることで、新たな視点を得る学びの機会となった。交流会終了後には、曹泰和准教授とそのゼミに所属する4年生4人がキャンパスツアーのガイドを務め、訪日団一行に学内施設を案内した。訪日団一行からガイドの学生に卒業研究の

テーマや卒業後の進路について質問があるなど、終始和やかな語らいの中にツアーは終了した。

今回の交流は、学生や教員にとって国際理解を深めるうえで非常に有意義な経験となった。



訪日団一行と記念撮影

明海大学×三井不動産ホテルマネジメント 産学連携で七夕チャリティイベントに参加

本学ホスピタリティ・ツーリズム学部は、株式会社三井不動産ホテルマネジメントと連携し、実践的な学びを通じて社会課題に取り組む産学連携プロジェクトを開始した。第一弾として、2025年7月5日・6日に都内の三井ガーデンホテルにて実施される七夕チャリティイベント「HAPPY SMILE for TANABATA」に、本学学生がイベントサポーターとして参加する。

このイベントでは、障がいのある方々

が制作した短冊にホテル来訪者が願いごとを書き、笹に飾るという参加型の取り組みとして行われる。学生たちは事前に障がい者施設を訪問して短冊制作を支援し、当日はホテルでのイベント運営に携わる。

本プロジェクトは、「ホテルにおけるチャリティイベントの活性化」と「ホテルでのフードロス課題解決に向けた施策」の2テーマで構成されており、今後も

クリスマスイベントやフードロスに関する研究を通じて、学生がホテル現場の課題に主体的に向き合い、提案・発信する機会を提供していく。今回の連携は、観光業界のリアルな現場を学ぶと同時に、地域や社会に貢献する力を育む貴重な取り組みとなっている。



短冊制作サポートのための障がい者施設訪問時の様子

明海大学探究学習研究会のお知らせ

明海大学では、高校の先生を対象とした探究学習研究会を開催します。本研究会では、目標設定や計画立案に重点を置いた独自の問題解決メソッドを紹介し、高校の必修科目「総合的な探究の時間」(探究学習)に関するサポートを提供。さらに、アクティブラーニングの一環として、教育用カードゲームの導入方法もご紹介します。

〈開催情報〉

○開催日時: 2025年8月8日(金) 14時～16時(受付開始 13時30分～)

○会場: 明海大学 浦安キャンパス

○プログラム

●講演: 「明海スパイラルメソッド 〈桃太郎〉を題材に」 二宮秀生 副学長

●ワークショップ: 「教育カードゲームの紹介」 遠藤信一 教授(総合教育センター)

森一将准教授
(口腔顎顔面外科学分野)

一般社団法人日本有病者歯科医療学会
第34回日本有病者歯科医療学会学術大会

優秀発表賞を3年連続で受賞

3月16日に御茶ノ水ソラシティで開催された「一般社団法人日本有病者歯科医療学会 第34回日本有病者歯科医療学会学術大会」において、歯学部 森一将准教授(口腔顎顔面外科学分野)が優秀発表賞を受賞した。

この賞は日本有病者歯科医療学会での公募の一般演題の中から、学会賞選考委員会の厳正かつ公平な審査により、特に優れた発表に対して贈

られる。森准教授は、3年連続の優秀発表賞受賞となった。森准教授からは「2023年度から3年連続の受賞で、ひとえに本研究にご協力いただきました先生方のたまものと感謝しております。私といたしましても臨床におけるリサーチの成果がこのような伝統ある学会で評価されたことを大変うれしく思っております。この度の栄誉をこれからの臨床や研究の糧として今後も精進いたしたく存じます」と喜びの声があった。

◆受賞演題

口腔内異常感症におけるCandidaの関与についての臨床的検討



3年連続で優秀発表賞を受賞した森准教授

三浦賞子准教授(クラウンブリッジ補綴学分野)が「令和6年度日本歯科理工学会 学術賞」を受賞



三浦賞子准教授(左)

歯学部の三浦賞子准教授(クラウン・ブリッジ補綴学分野)が「令和6年

度日本歯科理工学会学術賞」を受賞した。これは、令和6年度の日本歯科理工学会の学術分野において顕著な功績を挙げ、若手研究者の育成にも貢献している研究者に授与されるものである。

三浦准教授は今回の受賞について「栄誉ある日本歯科理工学会学術賞を賜り、大変光栄に存じます。これまでご指導くださった先生方、ご協力いただ

いた共同研究者の皆様に深く感謝申し上げます。今後も材料特性に根ざした補綴歯科治療の科学的探究を継続し、臨床への応用と学術の発展、そして若手研究者の育成に一層努めてまいります。本受賞を励みとし、より実践的かつ革新的な研究成果を発信していきたいと考えております」と話した。

三浦准教授は、昨年度同学会の論文賞も受賞している。

歯学部成績優秀者表彰



6年生の受賞者ら

5月8日、坂戸キャンパスにて「2025年度歯学部学業成績優秀者表彰式」が行われた。前年度の学業成績が優秀で、心身ともに健康で品行方正な学生が対象となり、各学年の上位10人(2年生は入学者上位10%)が表彰された。今年度は合計55人が選出され、坂英樹歯学部長から表彰楯とともに激励の言葉が贈られた。本学では、「広い視野・豊かな人間性・国際性」の3つを兼ね備えた、常に変化

し続ける社会状況に対応可能な「新時代の歯科医師」の育成に力を注いでいる。こうした表彰を通じて、学業に真摯に取り組む姿勢を称え、学生の成長を後押ししている。式は、受賞者の努力と成果をたたえる晴れやかなものとなった。

受賞した神門優飛さん(歯学部6年)は、「このたびは、日々の努力を評価していただき、誠に光栄です。残り少ない学生生活の中で、国家試験合格をめざして一層気を引き締め、これまで以上に学びを深めていきたいと思います」と受賞の喜びと今後の目標を語った。

保健医療学部 登院式

臨床臨地実習開始に向け医療人としての気持ち新たに

6月2日、浦安キャンパスにおいて「保健医療学部2025年度臨床臨地実習登院式」が開催された。この式典は、これから臨床臨地実習に臨む保健医療学部口腔保健学科の3年生が、歯科衛生士学生としての心構えと決意を新たにすることを目的に行うもの。初めての臨床着に袖を通した学生たちは、緊張の面持ちで式に参加した。

式の初めに、中畠裕学長が式辞を述べ「国民の健康を自分たちが担っ

ていくという気持ちで、自信を持って様々な技術や知識を身につけてきてください」と学生たちを激励した。

続いて、金子潤保健医療学部長から登院許可が与えられると、学生たちは厳粛な雰囲気の中、教員から一人ひとりのキャンドルに灯火を受け、全員で誓いの言葉を唱和した。金子学部長は「この灯火は医療人としての使

命と責任を受け継ぐもの。灯火を手にしたこの瞬間の気持ちを胸に刻んで実習に臨んでください」とメッセージを送った。



誓いの言葉を唱和する保健医療学部生

保健医療学部 浦安市民まつりでお口の健康度を測定

4月26日と27日に行われた「第27回浦安市民まつり」に保健医療学部の3・4年生が参加した。学生たちは浦安公園の会場にブースを設け、市民まつりに訪れた市民の方々に、お口の健康度測定として、唇の閉鎖力の測定やむし歯のなりやすさチェックを実施し、その結果に対してフィードバックとアドバイスをを行った。また、同ブースには「歯科相談コーナー」が併設され、歯科医師教員によるお口の健康に関する相談も併せて実施した。

参加した学生は「老若男女問わず、幅広い年齢層の方々にお立ち寄りいただくことができた。ご高齢の方への接し方については、授業や実習で身につけた方法が大いに役立った一方、中にはまだ歯科医院を訪れたことのない小さなお子様もおり、年齢に応じた接し方やアドバイスを考える難しさを改めて実感した。今回の取り組みをきつ

けにより多くの方がお口の健康に興味を持ってくれたらうれしく思う」と感想を話した。



お口の健康度測定を行う保健医療学部生

学内企業セミナー開催 学生と企業をつなぐ、実りあるキャリア支援

5月27日・28日、6月16日・17日の4日間、浦安キャンパスにおいて、学部4年生および大学院2年生を対象とした学内企業セミナーが開催され、延べ85人の学生が参加した。

本セミナーは、様々な業界の採用担当者が会社概要や仕事内容、採用情報を学生に直接伝える機会であり、例年ここでの出会いが内定獲得につながる学生も多い。

今年も明海生を積極的に採用した

い多くの企業から参加希望が寄せられ、商社、IT、小売、福祉、不動産など幅広い業種から63社が参加した。

学内という身近な環境で実施されることもあり、学生たちは積極的にブースを訪問し、熱心に担当者の話に耳を傾けていた。参加した学生からは「仕事内容や職場の雰囲気、求める人物像などについて直接聞くことができ、有意義な時間だった」といった感想も寄せられた。

本学では、1年次から4年次まで継続

的にキャリア教育を行い、学生の就業意識の向上を図っている。今後も、学生一人ひとりの進路実現に向け、万全のサポート体制を整えていく。



採用担当者の話を熱心に聞く学生たち

明海大学・朝日大学合同研修会を開催

5月24日、姉妹校である朝日大学との合同研修会が本学浦安キャンパスを会場に開催された。本研修会は両大学の姉妹校協定に基づき実施し、2部構成で行われた。

第1部では、外国語学部英米語学科の小谷哲男教授が「第二期トランプ政権と国際情勢」をテーマに講演。小谷教授は、トランプ政権の核心理念である「アメリカファースト」や、他国からの輸入品に高関税を課す関税政策、GDPを重視する経済戦略について説明した。これらの政策が世界の国々や国際機関に及ぼす影響について、参加者は改めて理解を深めた。

第2部では、日本マイクロソフト株式会社業務執行役員であり、IT業界の著名カリスマエバンジェリストの西脇資哲氏を迎え、「IT活用最前線ーChatGPTをはじめAI技術による教育・研究・医療現場へのインパクトー」を

テーマに講演が行われた。西脇氏は生成AIの高い能力を最大化するにはAIへの指示文である「プロンプト」の具体的な作成が重要であると強調。参加者はAIを、自身の業務や研究にどう活かすかを学ぶ貴重な機会となった。



明海大学外国語学部英米語学科
小谷教授



日本マイクロソフト株式会社
業務執行役員 エバンジェリスト 西脇氏

浦安キャンパス 市民講座開催

万博の魅力に触れるひととき

2025年度事業計画として掲げている「開かれた大学づくりの推進」の一

環として地域交流と社会貢献活動を積極的に推進することを目的とし、今年度は市民向けの講座を4回実施する。

第1回目となる6月21日の講座では、ホスピタリティ・ツーリズム学部の渭東史江教授が「知らないともったいない！世界と未来を

つなぐ万博」と題して現在開催中の万博の魅力や実際に万博のボランティアスタッフとして参加した経験談について語った。

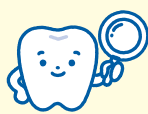
会場は終始和やかな雰囲気に入れ、参加者はリラックスした様子で渭東教授の話に耳を傾けており、講演の随所では参加者の間から笑い声も聞かれた。また、最後に設けられた質疑応答の時間では、参加者から多くの質問が寄せられ、活発なやりとりが交わされ、全体を通じて実りある催しとなった。



講演の様子 講師：渭東教授

明海大学市民講座(7月26日開催)のお知らせ

見えるから、予防できる。
「むし歯・歯周病なりやすさチェックツール」で、
あなたのリスクを科学的に読み解きます！



7月26日(土)、むし歯・歯周病の「なりやすさ」を科学的に分析できるチェックツール「デカゴン」(富士通Japan提供)を使った市民講座を開催する。リスクを可視化し、毎日のセルフケアのコツや健口(けんこう)を保つポイントを解説。講師は本学保健医療学部の梅森幸准教授が担当します。(参加無料)。

日時:2025年7月26日(土)
10:30~12:00(受付 10:00~)
会場:明海大学浦安キャンパス
図書館2階(ラーニングコモンズ)
お問い合わせ:047-355-1101(企画広報課)

関東地区教育懇談会を開催

6月14日、浦安キャンパス教育後援会主催の関東地区教育懇談会が浦安キャンパスで開催され、当キャンパス

に在籍する1・4年生の保護者が出席した。教育懇談会は、保護者に大学の諸支援体制および学生の成績を始め

とする大学生生活の様子を知ってもらう機会となっている。全体会では、住友博之教育後援会会長の挨拶に続き、二宮秀生副学長からは「明海大学の建学の精神を基に様々な学びの特長を活用し、大学生

活の4年間でなりたいじぶんを見つけ、将来の楽しみに繋げてほしい」との挨拶の後、キャリアサポートセンター長として、就職の近況報告があった。

学生支援課からは、修学支援業務年間スケジュール、海外留学・海外研修派遣および体育会活動状況等について報告があった。その後、学科担当教員ごとにブースを設けて個別面談会を実施した。担当教員との面談は、授業の出欠、成績などの状況確認や様々な相談ができ、保護者の満足度が高く「大学の様子や成績について担当の先生から直接お話が聞けてよかった」「留学について、明海大学のサポート体制が確認でき、とても安心した」などの声が聞かれた。



個別面談会の様子

多彩な体験で 高校生の関心高まる 浦安キャンパスでオープンキャンパスを開催

4月から6月にかけて、浦安キャンパスで歯学部を含むオープンキャンパスを3回開催した。2025年度の初回となる4月20日は、「学部選びガイド」や「学科紹介」を通じて、多くの高校生が進路選択のヒントを得た。また、「昔ばなし『桃太郎』で学ぼう問題解決力」では、参加者同士が活発に意見を交わすグループワークが行われた。

5月25日と6月15日には、「体験授業」や最新の入試情報を紹介する「入試ガイダンス」を実施。参加者は実際の授

業を体験し、大学の学びや雰囲気を実感する機会となった。さらに、学生と自由に会話ができるフリートークエリアも人気を集めた。また、「MEIKAI課外活動LIVE!」では、4月にダンスサークル「Rabbit」、5月と6月には吹奏楽部がパフォーマンスを披露し、来場者を大いに楽しませた。

オープンキャンパスの参加者からは「どの学部の先生・先輩方も質問などに丁寧に答えてくださり

とても有難かったです」といった声が聴かれた。



「昔ばなし『桃太郎』で学ぼう問題解決力」の様子

Open Campus 2025

浦安キャンパス

オープンキャンパス10:00~14:30

要予約

外国語／経済／不動産／ホスピタリティ・ツーリズム／保健医療学部／
大学院（応用言語学研究科・経済学研究科・不動産学研究科）

7月13日(日)、7月27日(日)

8月2日(土)、8月17日(日)、8月31日(日)

お問い合わせ／企画広報課 TEL 047-355-1101

坂戸キャンパス 歯学部

オープンキャンパス10:30~

要予約

7月20日(日)、8月24日(日)、9月21日(日)

お問い合わせ／歯学部入試事務室

TEL 049-279-2852

各日程の特別プログラム等は本学公式HPをご覧ください。

<https://www.meikai.ac.jp>

※内容が変更となる可能性がございます。



明海スポーツ

輝かしい戦績を残す!

体育会公式ホームページ <http://meikai-sports.jp>

体育会陸上競技部

関東学生陸上競技対校選手権大会で躍進!

5月8日から11日にかけて、相模原ギオンスタジアムおよび相模原ギオンフィールドにおいて「第104回関東学生陸上競技対校選手権大会」(以下、関東インカレ)が開催され、体育会陸上競技部が男子2部総合得点40点で7位、男子2部フィールド総合得点38点で3位という好成績を収め、力強い存在感を

示した。なかでも注目すべきは、13人の選手が各種目で入賞を果たした点だ。これはチーム全体の力が結集された成果であり、今後の関東1部昇格への期待がますます高まっている。この結果を踏まえて、川幡俊行監督は「今大会では、選手たちが大きく成長した姿を見せてくれました。13人が入賞を果たしたことは非常に大きな成果です。関東1部昇格に向けて、さらにチーム力を高めていきたいと思っています」と語ってくれた。



関東インカレで入賞した選手たち

《入賞選手一覧》※男子2部、女子1部

- 佐藤 心(経済学科2年/神奈川工業高等学校出身)
110mハードル <決勝14秒58 7位入賞>
- 末木 裕大(経済学科2年/横浜清風高等学校出身)
棒高跳 <決勝4m62 6位入賞>
- 松岡 義人(経済学科3年/星槎国際高等学校出身)
砲丸投 <決勝14m67 優勝>
- 橋本 大輝(経済学科1年/武相高等学校出身)
砲丸投 <決勝13m63 6位入賞>
- 鈴木 皓大(経済学科3年/横浜清陵高等学校出身)
砲丸投 <決勝13m53 7位入賞>
- 橋本 笙汰(経済学科3年/武相高等学校出身)
円盤投 <決勝44m18 2位入賞>
- 板倉 正磨(経済学科2年/霧が丘高等学校出身)
円盤投 <決勝38m75 4位入賞>
- 花岡 航大(経済学科1年/東京学館高等学校出身)
円盤投 <決勝38m37 5位入賞>
- 松田 涼汰(経済学科3年/武相高等学校出身)
やり投 <決勝57m65 8位入賞>
- 中居 大翔(経済学科1年/小山西高等学校出身)
ハンマー投 <決勝49m18 6位入賞>
- 西本 勇希(経済学科2年/平塚学園高等学校出身)
ハンマー投 <決勝48m95 7位入賞>
- 山田 きらり(経済学科4年/横浜学園高等学校出身)
走幅跳 <決勝6m16 4位入賞>
- 谷津田 桃恵(経済学科2年/横浜清風高等学校出身)
砲丸投 <決勝12m86 8位入賞>

体育会女子バレーボール部

春季リーグで健闘! 堤選手ベストスコアラー賞を受賞!

2025年4月12日から5月18日にかけて開催された「2025年度 春季関東大学バレーボールリーグ戦」において、明海大学女子バレーボール部が昨年の秋季リーグを上回る7位の成績を収めた。

本大会では、女子バレーボール部キャプテンの堤亜里菜選手(英米語学科4年/共栄学園高等学校出身)が、ベストスコアラー賞を受賞。堤選手は、全11試合で総得点336点を記録し、2

位に100点以上の差をつける圧巻のパフォーマンスでの受賞となった。

この受賞を受けて堤選手は「目標としていた優勝には届きませんでしたが、個人としてベストスコアラー賞をいただけたことは本当に嬉しいです。次は東日本インカレ、秋季リーグ、そして全日本インカレでの優勝をめざします。太田監督が掲げる理想のバレーボールを体現し、タイトルを獲得して、明海大学の新

たな歴史を刻んでいきたいと思います」と語った。



ベストスコアラー賞を獲得した堤選手

第38回浦安キャンパス学園祭「明海祭」テーマ決定

テーマ:「Canvas(キャンパス)」開催日:2025年11月2日(日)・3日(月)

今年で第38回を迎える明海大学浦安キャンパスの学園祭「明海祭」のテーマが「Canvas(キャンパス)」に決定した。

“創造性”や“表現の場”という意味を連想させる「Canvas(キャンパス)」というテーマに、次の2つの思いが込められている。

- ・学生たちが創造力の発揮の場としてのキャンパス
- ・新しい思い出を描くスタート地点



明海祭HP